

磐田市では平成21年4月に『核兵器廃絶平和都市宣言』をし、平成22年度から『広島平和記念式典中学生派遣事業』をスタートしました。

2年目となる本年度は、原爆ドームや広島平和記念資料館の見学、広島平和記念式典への参列に加え、昨年縁あって被爆桜^{ひばくざくら}の苗木をいただいた安田女子高等学校を訪問しました。

渡部修市長が語る

『広島平和記念式典中学生派遣事業』

若い感性で、平和について考えてほしい
この地に立って、何かを感じ取ってほしい
そして、未来へ語り継いでほしい

2年目を迎えて

昨年この事業をスタートし、広報紙などでも紹介しました。市民の皆さんからは「よい取り組みだ」、「今の時代に必要な事業だ」など多くの声を頂きました。私は、次世代を担う若者に、このような機会を与え続けたいと思っています。今回もこの日が来るのを心待ちにしています。

昨年を振り返って

広島平和記念資料館に入ったときの、中学生9人

の表情の変化が忘れられません。彼らは、そこで感じたことを生かし、みんなに伝え、いろいろな場でリーダーシップを発揮して成長し続けていることでしょう。

中学生の印象

本年度は、11人の中学生が参加しました。彼らと話をすると、受験やネット社会など、若者を取り巻く環境は私の時代に比べて様変わりしたことを、あらためて感じました。しかし、根

底にあるものは、どの時代も同じであると信じています。すぐに環境に順応できる柔軟な年ごろだからこそ、広島^{ひら}の地で何かを感じ、未来へ伝えることができるに違いないと思いました。

被爆桜を見て

被爆地では、75年間は草木も生えないと言われていたそうです。しかし、安田女子高校で見た被爆桜は、見事に青々と茂っていて、本当に驚きました。しっかりと大地に根を張る桜の姿

からは、生命の力強さや偉大さを感じました。

安田女子高校を訪れて

訪問した安田女子高校の生徒の皆さんの素晴らしい態度に驚き、感激しました。また、被爆桜を通して、より多くの人たちに戦争や原爆の惨劇、平和の尊さを伝えていきたいという強い意志を感じました。彼女たちは、磐田から訪問した中学生と年齢も近いいため、中学生にとって大変よい刺激になったと思います。

※被爆桜・・・広島市の安田女子高等学校で生き続ける、原爆の被爆樹木に認定された貴重な桜。昨年の取材で偶然同校の生徒と知り合い、この桜を知る。同校生徒会が、桜の命を後世に伝えるため接ぎ木で増やし、9本の苗木を譲り受け市内の中学校などに植樹した。



安田女子高校の被爆桜は平和の尊さを語り継ぐ



資料館で見た惨劇が若い心に衝撃を与えた



折り鶴に平和への願いを込めて式典に参列



感じた思いをラジオの電波に乗せて発信



資料館での彼らを見て

広島平和記念資料館では、すぐに彼らの気持ちが引き込まれていくのが分かりました。教科書やテレビ、漫画などで見た戦争に比べ、より現実的な出来事だと感じたでしょう。ただ悲惨だったと思うだけでなく、平和に至るまでの過程やその尊さを考える機会になったと感じました。

式典へ参列して

『黙とう』、『平和宣言』、『平和への誓い』など、す

べての参列者が平和への思いを巡らせる式典でした。

広島市の街並みは、66年前の惨劇からの復興の象徴と言えます。この復興の裏には、多くの人々の努力がありました。彼らも、平和な生活や、そのための人々の努力にあらためて感謝したことでしょう。

彼らの思いを聞いて

彼らは磐田に帰り、ラジオ番組と『磐田市戦没者・戦災死者追悼式』で平和への思いなどを語りました。

その中で、「私が通っている中学校、そしてこれから出会う人たちに、広島で感じたことを伝えていくことが私の役目です」という言葉がありました。

この事業は、参加するところがゴールではなく、むしろそこがスタートです。彼らはここで感じたことを周囲に、次の世代に伝え続けられると確信しました。

平和への思い

3月11日の東日本大震災では、一瞬にして多くの命

が奪われました。それは、平穏な生活が当たり前でなくなつた瞬間でした。このとき、誰もが平穏で平和な日々の尊さをあらためて感じたことでしょう。

平和の尊さを真剣に考える機会は、現代では決して多くありません。だからこそ、この事業を継続し、未来を担う若者に、平和について考えてほしいのです。

人材育成について

学歴や成績などで人間を評価することに、私は強く

疑問を感じています。明るい人、良い人間関係を築ける人、あいさつができる人、このような『人間力』を高めることが、真の人材育成だと思います。

平和な生活、温かな家庭、信頼しあえる友人などは、すべてが貴重で尊いものです。そのことを常に心に留めて行動することにより『人間力』を高め、この厳しい時代を乗り越えられるたくましい人間に成長できると信じています。